

市の課題解決策は

地域資源を生かしていく

質問 国の第2期復興・創

成期間を迎えている。本市の今後の可能性をどのように分析し、課題をどのように解決し

うとしているのか。

答弁 1次産業から3次産業まで、さまざまな分野で取り組みが進んでいることが、



畠山恵美子

(翔 成)

今後の可能性と考えている。また、市内の各種産業がリンクしていくことにより、地域経済の活性化につながる。ことから、引き続き国・県など関係機関と連携しながら推進していく。

しかし、にぎわいの創出や交流人口・関係人口の拡大に向けて、「来訪者の滞在時間が短く、通過型となっていること」や「市内に宿泊施設が不足しているため、宿泊者が市外に流出していること」が課題となっている。

今後は地域資源を生かしながら多様化するニーズに対応する取り組みを推進し、宿泊施設の整備に向けて事業者と

協議・調整を進め、課題解決を目指していく。

日本遺産効果は

質問 日本遺産に認定されたことの意義が本市において十分な効果につながっているのか。

答弁 日本遺産に認定後、涌谷町（宮城県）を事務局に日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会を設立した。ウェブサイトの運営・活用、イベント開催による情報発信、各ストーリーPR案内板の設置、各種セミナー開催など、さまざまな活動を行ってきた。

本市では、市民を対象とし



日本遺産：玉山金山跡

た玉山金山の歴史を学ぶ勉強会をはじめ、玉山金山を活用した事業展開につながるセミナーやガイド養成講座を開催し、市民がそれぞれの立場で玉山金山の歴史・文化に触れる機会が増えており、日本遺産についての普及啓発につながっているものと考えている。

YouTube 配信のお知らせ

インターネットのYouTubeから会議の様子を動画で配信します。

本市議会のYouTubeは、陸前高田市ホームページ内の市議会のページから開くことができます。

※市議会 YouTube の視聴方法

陸前高田市ホームページ→市議会→市議会→本会議および特別委員会の音声継「陸前高田市議会（YouTubeのサイト）」をクリックすると陸前高田市議会のチャンネルへと移動しますので、視聴したい会議を選んでクリックしてください。



QRコード
(動画配信)

復興対策特別委員会

復興対策特別委員会（大坂俊委員長、委員17人）は12月6日、高田町の中心市街地に建設中の追悼施設のほか、現在建設を終えているものの、内部の建材から有害物質や水分を取り除くための枯らし期間となっている市立博物館の現地視察を行いました。



追悼施設は、市都市計画課の高橋宏紀課長から説明を受けました。この施設は、東日本大震災で犠牲になられた方々の追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓を継承しようと整備されるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響で工事に若干の遅れがあるものの、今年

の東日本大震災追悼式までには完成する予定であることを確認しました。

施設は、慰霊碑をガラス製の屋根で覆い、ひのき造りの上屋と人が腰掛けられるあずまやを設置。周囲を1mほどの石積みで囲い、静かに思いが寄せられる雰囲気となります。工夫されています。

また、車椅子でも刻銘板がしっかりと見えるよう配置されていました。

市立博物館は、市教育委員会事務局の細谷勇次次長と管理課の熊谷賢副主幹から施設の概要について説明を受け、施設内の展示・設備等の計画や状況を確認しました。

施設は、震災前にあった市立博物館と海と貝のミュージアムを併せた内容となっています。延床面積2800平方m（屋根付き駐車場含む）で、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建てです。

常設・企画展示の各室のほか、修復などの作業状況を見ることが出来る部屋や被災文化財レスキューの様子、本市沿岸海域に生息する生物の紹介、小さな子どもが遊びながら手を動かし、興味を抱いてもらうよう工夫を凝らした展示・配置でした。被災した収蔵物のレスキ

ューは、多くの方々の努力によって得られたデータなどが蓄積され、本市の歴史文化を学べる場としての役割ととも



開館予定は令和4年秋ごろとのことでした。市民はもちろん、多くの人に足を運んでもらい、本市の歴史文化や被災した収蔵物のレスキ

災収蔵物のレスキューなどについて学べる施設となることが期待されます。